



福島県独自の学級編制が廃止の瀬戸際に立っています。学年末・学年始のこの時期だからこそ、少人数教育について国語科からの視点で考えてみましょう。

## 国の基準

公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律

小学校 1 年生	3 5 人
小学校 2 年生～中学校 3 年生	4 0 人



## 少人数教育の目的

- 1 小・中学校 9 年間を通した少人数教育
  - 一人一人に目が行き届くきめ細かな指導
  - 個に応じた指導による学力向上
  - 少人数を生かした望ましい集団作り
- 2 地域が主体となったきめこまかな教育
  - 学校や市町村教育委員会の判断と主体性の尊重

## 福島県の学級編制

平成 1 4 年	小学校 1 年生と中学校 1 年生	3 0 人	学級編制
平成 1 5 年	小学校 1、2 年生	3 0 人	学級編制
平成 1 7 年～	小・中学校全学年	3 0 人程度	学級編制
小学校 1、2 年生と中学校 1 年生 3 0 人 小学校 3～6 年生 中学校 2、3 年生 3 3 人			
※ 市町村教育委員会の判断で、少人数指導を選択することも可能			

## 少人数教育で期待される効果



- 一人一人に目がよく行き届き、丁寧な個別指導ができると同時に、つまずきの早期発見と対応が容易になる。
- 少人数なので、お互いに助け合い、協力し合う雰囲気が生まれやすく、落ち着いた生活に結びつく。
- 一人一人の児童生徒の特性や実態を早く把握することができ、個に応じた適切な指導を行うことができる。
- 学習指導・生活指導など入門期の学習・生活習慣を身に付けさせるための丁寧な指導ができる。



会津域内では、大規模校が少ないので、少人数教育についてあまり意識していなかったな。

少人数教育のための加配教員数は、平成21年度において、小学校1、2年生及び中学校1年生の30人学級で、468人、その他の学年の30人程度学級で621人、合計1,089人となっています。不登校やいじめの減少など、生徒指導面の効果は現れていますが、さらに、学力面でも成果が求められているのです。



少人数教育は、算数・数学科のコース別指導の実践は知っているけど、他教科では少人数教育を意識したことがないな・・・

30人・30人程度学級があたりまえという教員の意識や、各教科の指導方法が、従来の一斉、講義形式のままでは、学力の向上は望めません。少人数教育の目的は何かという、原点に立ち戻ることが大切です。



### 国語科の少人数教育

- 指導内容を精選し、言語活動を充実させる。
  - ・漢字練習・音読練習などの時間をとる。
  - ・音読等、児童生徒の発表の機会を増やす。
- 集団思考場面を設定する。
  - ・同じ考えのグループや違った考えのグループなど、課題によりグループ編成を工夫する。
- 習熟度別の利点を生かす。
  - ・基礎的な言語事項や前学年の学習内容は、教師とともに確認する。
  - ・発展的な内容は、学び合いを中心に学習する。
- 形成的評価を効果的に取り入れる。
  - ・「めあて」「活動」「まとめ」の整合性を図る。
  - ・身に付けさせたい力を明確にし、定着の度合いをノート等で確認する。



今回は、さらに授業場面での少人数教育の効果的指導方法について、考えていきたいと思います。

